

【資料】 教育子育て九条の会は去る3月9日に呼びかけ人会議を開きました。その折に訴えがあった、当会の呼びかけ人である上原公子さんの「景観保護に関わる裁判」問題について、支援の呼びかけ人の一人である当会事務局の山田功さんの発言を紹介します。

上原公子さんを支えて下さい！～教育子育て九条の会の皆さんへ

教育子育て九条の会事務局 山田 功

景観保護で頑張る上原公子元市長に、『4500万円支払え』の理不尽さ

◆私は今怒っています。JR国立駅前の大通りのサクラ・銀杏並木の美しさをご存じの方いますか？この景観保護のためにどれ位市民や自治体の努力があったことか！計り知れません。実はその努力の中で、1999年から高層マンション（44m）を建てる建設会社と争った事もありました。その時住民と一体となり奮闘したのが上原公子市長（当時）です。

◆まさかその結末が二転三転・・・して『上原さん1人に4500万円の賠償金を支払わせる（2016年12月15日・最高裁）』というヒドイやり方で、幕が降りそうになっていることを、皆さんはご存知でしょうか。もちろん景観を守ろうとした市民は怒り「景観保護はオール市民でたたかったもの。だから元市長一人に支払わせない」と言って、『くにたち上原景観基金1万人の会』を直ぐに立ち上げました。

◆この熱い気持ちが、国内外で連鎖を起こして、既に振り込み額が2000万円を超えたそうです。私は「企業の利益よりも住民の願いを優先しようとした自治体の首長や市民運動を、今後ビビらせていく“典型的な個人潰し攻撃”だ」と感じ「これは他人事ではない！」と、思って、『呼びかけ人』の1人に加えて頂きました。／「あなたも1万人の輪の1人」になって頂ければこんなに嬉しいことは無いと思っております。

<チラシから読み取った、景観運動の経過（文責山田）>

★**第一幕** 国立市民が→「建設会社は20m以上は撤去せよ」という訴えをした
残念ながら（地裁○、高裁×、最高裁×）という結果で終わる（2005.6. 23）。

★**第二幕** 建設会社が→「国立市は『営業妨害をした。4億円賠償せよ』という訴えをした
（地裁・4億円→高裁・建設会社のやり方も強引だったので減額し2500万円→最高裁・上告棄却）。→この結果、国立市は利子を含めて3123万円を会社に支払うことになる。それに対して建設会社の方も「訴訟は会社の活動の正当性を明らかにするのが目的だった」といって、同額の3123万円をそっくり、国立市に寄付をし（2008年5月）1件落着。

国立市の財政=賠償金（-3123万円）+建設会社の寄付（3123万円）=**±0円**

ところが2009年になって次の第三幕が起きる。

★**第三幕** “住民”4人→国立市は「上原に3123万円を支払わせろ」という訴えをした
2009年（市長選の前年）に“住民4人”が上原をターゲットにした上記訴えを起す。
→以後6年の間に、市長や市議会の構成が何回か変わり（市が裁判を取り下げた時期もあったが）、経過が二転三転し、最後は「最高裁が上告を棄却する（上原に、利息を含めて4500万円を支払わせる）」という結果が出て、2016年12月13日に終結した。

★**第四幕** 『上原元市長1人に払わせない』『1万人の会』が立ち上がる（2017年2月11日）